

自治体・学校向け「英検 IBA オンライン版」 2024年度 サービス開始のお知らせ



～校内・生徒の1人1台端末等で、英語の4技能を測定できる～

公益財団法人 日本英語検定協会（以下、英検協会）は、全国の自治体・団体様向けに、生徒の英語力（英検級レベル）をオンラインで手軽に測定できる「英検 IBA オンライン版」の提供を2024年度より開始いたしますことをご案内いたします。また、サービス開始に先立ち、**2023年度内に英検 IBA オンライン版（Writing / Speaking）テストのトライアル実施（無償）を希望される自治体様を募集いたします。**

「英検 IBA」の取り組み事例について

- 生徒の**英検級レベル、CSE スコアを技能別に手軽に測定**できることから、各生徒が目標級に合格するまでの道標となり、先生方には日頃の学習成果の伸びを把握することでご指導にお役立ていただけます。
- **CEFR レベルを用いた客観的指標**でも判定でき、英語能力を客観的に測定したい自治体で多く利用されています。（現在、約800の自治体で採用いただいております）
- **地域別・団体別の充実したフィードバック資料**で、教員の指導力向上や、生徒の振り返り/目標設定に活用されています。

このたび、学校・生徒の1人1台端末で実施可能な「**英検 IBA オンライン版**」の提供を開始させていただくことで、英語4技能をより簡便に測定可能となります。「**英検 IBA オンライン版**」の特長は以下をご高覧願います。

「英検 IBA オンライン版」の特長（2024年度 サービス提供開始）

- **校内・生徒の1人1台端末等を活用し、英語4技能をオンラインでより簡単に試験実施可能**
 - ✓ **4技能テストを授業2コマで実施可能**（1人1台端末利用により、クラス全員で一斉実施可能）
 - ✓ 「Reading & Listening:45分」、「Writing:15~20分 & Speaking:8分」 ※準備含めて授業2コマで完結
 - ✓ 申込責任者・教室監督者用マニュアルを提供 生徒が事前にテストの流れを体験できる「体験版サイト」も準備!
- **Writing / Speaking の受験は2技能セット**
従来の「英検 IBA」と比較し、**Writing / Speaking では受験料を安価に提供予定**
- 団体+個人成績表に生徒の英検 CSE スコア、技能別 CEFR を掲載し、評価フィードバックにお役立て頂けます。

※2024年度からのサービス開始に先立ち、**2023年度内に英検 IBA オンライン版(Writing / Speaking)テストのトライアル実施（無償）を希望される自治体を募集いたします。**

開発に対しての先行トライアルにて、約60の自治体にご協力いただき、安定した実施が立証され、結果の有効活用が順調に進んでいます。

「英検 IBA オンライン版」開発の経緯

文部科学省が2023年6月に発表された第4期教育振興基本計画によりますと、中学生および高校生に求められる英語力目標が、第3期計画よりも高く引き上げられ、中学校卒業段階では、CEFR A1レベル（英検3級相当）が6割以上、高校卒業段階では、CEFR A2レベル（英検準2級相当）が6割以上、CEFR B1レベル（英検2級相当）が3割以上と示されました。

今後、各自治体様におかれましては、各学校ならびに生徒の英語力を把握し伸ばしていく施策をこれまで以上に推進することが求められているかと思えます。そこで、学校・生徒の1人1台端末を用いて4技能の英語力を手軽に測定いただけるよう、提供させていただきます。